

令和2年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

令和2年2月13日

上場会社名 元旦ビューティ工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5935 URL <https://www.gantan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船木 亮亮

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼財務グループ長 (氏名) 松橋 昭博

TEL 0466-45-8771

四半期報告書提出予定日 令和2年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第3四半期の業績(平成31年4月1日～令和元年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第3四半期	10,111	25.9	386	272.7	387	322.3	323	39.2
31年3月期第3四半期	8,027	8.7	103		91		232	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第3四半期	421.69	
31年3月期第3四半期	302.85	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第3四半期	9,933	4,107	41.3
31年3月期	8,649	3,865	44.6

(参考)自己資本 2年3月期第3四半期 4,107百万円 31年3月期 3,865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期		0.00		40.00	40.00
2年3月期		0.00			
2年3月期(予想)				50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年3月期の業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,700	10.1	400	17.5	380	19.8	234	61.4	305.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期3Q	771,606 株	31年3月期	771,606 株
期末自己株式数	2年3月期3Q	4,395 株	31年3月期	4,395 株
期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期3Q	767,211 株	31年3月期3Q	767,211 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における日本経済は、米中貿易摩擦を背景とした輸出の減少や消費税率引き上げによる消費への悪影響などにより景況感は悪化したものの、建設業界においては、東京五輪関連施設の建設が一服した後も、公共投資や民間建設投資が堅調に推移しました。しかしながら、依然として職人不足の傾向から工事採算は厳しい状況にありました。

このような状況のなか、当社は、国内に深刻な被害をもたらした台風にも十分に耐えたことで、激化する自然災害への性能が実証された既存製品をはじめとして、地球環境保全に貢献できる太陽光発電屋根や、元旦内樋などの意匠性の高いオリジナル製品の販売など、高機能・高品質屋根の普及に取り組むことで拡販に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は10,111百万円（前年同期比25.9%増）となり、その内訳は製品売上高が5,623百万円（前年同期比14.2%増）、完成工事高が4,487百万円（前年同期比44.4%増）となりました。

損益面におきましては、営業利益は386百万円（前年同期は103百万円）、経常利益は387百万円（前年同期は91百万円）となり、四半期純利益は323百万円（前年同期は232百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ1,283百万円増加し、9,933百万円となりました。その主な要因としては、現金及び預金が522百万円、売上の増加により売上債権が264百万円、着工中物件の材料仕入や仕掛工事の増加などにより棚卸資産が358百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

負債合計は前事業年度末に比べ1,041百万円増加し、5,825百万円となりました。その主な要因としては、大型物件に係る支払手形等の仕入債務が158百万円、借入金が601百万円、未払法人税等が67百万円、社内システムの強化に伴う設備関係支払手形(流動負債その他に含む)が152百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

純資産合計は、前事業年度末に比べ241百万円増加し4,107百万円となり、自己資本比率は41.3%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績は概ね予定通りに進捗しております。通期の業績予想につきましては、令和元年5月15日付「平成31年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期会計期間 (令和元年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	388,625	911,322
受取手形及び売掛金	1,513,611	2,136,909
完成工事未収入金	719,675	361,230
製品	595,958	604,244
仕掛品	6,056	7,359
未成工事支出金	727,567	963,170
原材料	700,004	813,489
その他	257,683	344,581
貸倒引当金	△14,630	△16,154
流動資産合計	4,894,552	6,126,152
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,029,598	1,001,437
機械及び装置（純額）	313,564	322,586
土地	1,446,777	1,444,183
その他（純額）	51,822	70,502
有形固定資産合計	2,841,763	2,838,709
無形固定資産	57,185	172,154
投資その他の資産		
投資有価証券	645,184	571,634
その他	420,240	429,108
貸倒引当金	△209,191	△204,746
投資その他の資産合計	856,232	795,996
固定資産合計	3,755,180	3,806,860
資産合計	8,649,733	9,933,013

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期会計期間 (令和元年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	608,848	811,455
電子記録債務	1,491,798	1,529,336
工事未払金	328,464	246,911
短期借入金	391,000	1,234,000
未払法人税等	20,720	87,772
製品保証引当金	28,882	34,037
工事損失引当金	—	3,256
その他	814,900	1,022,504
流動負債合計	3,684,613	4,969,273
固定負債		
長期借入金	571,000	329,800
退職給付引当金	465,602	490,310
その他	63,046	36,385
固定負債合計	1,099,649	856,495
負債合計	4,784,263	5,825,769
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,266,921	1,266,921
利益剰余金	2,251,586	2,544,426
自己株式	△16,798	△16,798
株主資本合計	3,501,709	3,794,548
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	363,760	312,695
評価・換算差額等合計	363,760	312,695
純資産合計	3,865,469	4,107,244
負債純資産合計	8,649,733	9,933,013

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)
売上高	8,027,470	10,111,038
売上原価	5,727,804	7,353,772
売上総利益	2,299,665	2,757,266
販売費及び一般管理費	2,196,059	2,371,087
営業利益	103,606	386,178
営業外収益		
受取配当金	9,649	9,954
受取賃貸料	2,941	6,566
売電収入	9,111	8,980
その他	10,040	12,865
営業外収益合計	31,742	38,365
営業外費用		
支払利息	12,571	7,281
手形売却損	10,735	9,112
減価償却費	9,305	7,869
その他	10,888	12,330
営業外費用合計	43,500	36,594
経常利益	91,848	387,950
特別利益		
固定資産売却益	—	4,894
国庫補助金	7,196	—
特別利益合計	7,196	4,894
税引前四半期純利益	99,045	392,844
法人税、住民税及び事業税	80,401	73,493
法人税等調整額	△213,711	△4,177
法人税等合計	△133,309	69,316
四半期純利益	232,354	323,527

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。